

科目名	児童家庭福祉						
	【保育士必修】 【社会福祉士必修】						
授業形態	講義	学年	1年	開講時期	前期	単位数	2単位
担当教員	鈴木 勲						

内容および計画	児童家庭福祉の理念や法制度、現場で直面している今日的な課題などを取り上げ、保育者として必要となる基礎的事項を学ぶことを目的としている。なお、本講義では、視覚教材(DVDやビデオ等)、パワーポイントでの資料提示を行うなど、マルチメディアを効果的に活用していくことを予定している。
1	イントロダクション 講義の趣旨説明及びスケジュールの確認を行う。
2	子どもの貧困と子どもの家庭福祉 - その理念と概念 子ども家庭福祉の基本的な理念を理解する。
3	世界の子どもと日本の子ども グローバルな視点から子ども家庭福祉の課題を整理する。
4	子どもの人権と権利擁護 子どもの人権と権利擁護システムについて学ぶ。
5	少子化社会と少子化対策・保育政策 少子化の現状や具体的な少子化対策と保育政策について理解する。
6	子ども虐待、ドメスティック・バイオレンス 子ども虐待やドメスティック・バイオレンスの急増とその社会的背景を理解する。
7	社会的養護体系と子ども家庭福祉の課題 社会的養護問題の歴史的な変遷と今後の課題を学ぶ。
8	児童福祉施設の役割と機能 児童福祉施設の体系と種類、実践課題などを学ぶ。
9	保育問題とその制度・政策 保育制度・政策の概要と課題について学ぶ。
10	子育て支援の広がりとその課題 現代社会における子育て支援の現状と課題を学ぶ。
11	子ども家庭福祉の法制度と行政の仕組み 子ども家庭福祉の法体系や福祉行政の実態を理解する。
12	子ども家庭福祉の行財政と実施期間 子ども家庭福祉の行財政の仕組みと具体的な実施期間の役割を学ぶ。
13	子ども家庭福祉を担う専門職員 子ども家庭福祉の職員に求められる専門性について学ぶ。
14	子ども家庭福祉の動向と展望 専門機関の連携とコミュニティのネットワーク、世界の子ども家庭福祉の動向について学ぶ。
15	全体のまとめと振り返り 本講義全体のまとめと振り返りを行う。併せて、定期試験もしくはレポート提出についての説明を行う。

教科書	タイトル	シードブック子ども家庭福祉(第2版)		
	著者名	浅井春夫	出版社	
	ISBN	978-4-76	発行年	
	必要な資料は授業時に毎回配布する。			

参考書	幼稚園教育要領・保育所保育指針 チャイルド本社 (ISBN9784805401224) 社会福祉小六法 ミネルヴァ書房編集部 教育要領、保育指針、小六法とも、どの出版社のものでもよいが、新年度のものとする。
-----	--

成績評価	評価方法		割合
	学期末のレポート		40%
	リアクションペーパー		60%
	全体的な基礎知識を問うレポートの提出を求める。		

学習到達目標	1.児童家庭福祉の理念・法制度を深く学び、子どもの最善の利益を考えられる保育士を目指す。 2.子育て支援や児童虐待、子どもの貧困、非行問題など、児童家庭福祉領域の抱える今日的な課題や福祉サービスの現状を具体的に理解する。
--------	---

先修条件	特になし。
------	-------

その他	普段から保育や子育てに関する時事的な話題に関心を持つようにする。授業後は配布された資料を読み返し、学んだ知識が般化できるように努めて下さい。授業展開は予定であり、授業の進度などにより、内容などが変更される場合もある。
-----	--

